

## 「一般国道2号西広島バイパス都心部延伸」の工事説明会におけるご意見・ご質問に対する回答

神崎地区及び観音地区にお住まいの方を対象とした工事説明会(令和8年2月6日・7日)において頂いたご意見・ご質問とその回答を以下のとおり整理しました。(質問の意図や回答を分かりやすくするため、実際の発言とは異なる部分があります。)

## 1 工事に関する内容

番号	意見・質問	回答
①	今回説明があった本体工事の着手時期はいつ頃になるか。	令和8年5月以降、順次工事着手を予定しています。具体の着手日が決まれば、回覧もしくはチラシ配布等でお知らせする予定です。
②	新住吉橋など今回説明があった工事以外の工事着手予定時期はいつか。	現時点では詳細な着手日については未定ですが、順次工事を進めて行く予定です。工事着手前に回覧もしくはチラシ配布等でお知らせする予定です。
③	施工時間帯を知りたい。	原則、施工時間は、昼間は8時～17時、夜間は22時～5時となります。ニューマチックケーソン(橋脚基礎工事)については24時間施工となります。
④	土曜日及び祝日の作業はあるか。	祝日については作業を行う場合がありますが、原則土曜日(AM5時以降)の工事はありません。ただし、緊急時または工事の進捗上どうしても必要がある場合は工事を行うことがあります。
⑤	下部工(場所打ち杭やフーチング)1基の施工期間はどのくらいかかるのか。	工事条件によりますが、1年程度を見込んでいます。
⑥	P46L・P46Rの橋脚基礎の完成時期はいつになるのか。また、鋼製橋脚の完成時期はいつになるか。	P46橋脚基礎の完成時期は2年程度を予定しています。なお、鋼製橋脚は、基礎完成後に施工予定で現時点での完成時期は未定です。
⑦	交通規制のお知らせはどのように行うのか。	工事着手前に回覧もしくはチラシ配布等でお知らせする予定です。また、規制情報については、特設ホームページでお知らせします。
⑧	今回説明があった工事(新観音橋付近)の交通規制は、いつどのような交通規制をするのか。	P47L橋脚については、下り車線のみ1車線規制を行います。P46L・P46R・P47Rについては、昼間の規制は上下線共に1車線規制、夜間は上下線共に2車線規制もしくは上下線のどちらかで対面通行規制を実施します。なお、規制情報については、特設ホームページでお知らせします。
⑨	今回説明があった工事以外(新観音橋付近以外)の交通規制は、いつどのような交通規制をするのか。	昼間の規制は上下線共に1車線規制、夜間は上下線共に2車線規制もしくは上下線のどちらかで対面通行規制を実施します。なお、規制情報については、特設ホームページでお知らせします。
⑩	交通規制はいつまで続くのか。	下部工、上部工、付属施設等の一連の工事が終了するまで終日車線規制が続く予定です。
⑪	新観音橋の歩道部の規制はいつからか。それは、いつまで続くのか。	令和8年5月頃から概ね1年程度を予定していますが、工事の進捗によっては変更となる場合があります。
⑫	新住吉橋でもニューマチックケーソン工法で工事をすると思うが、こちらも歩道は規制されるのか。	現時点では予定しておりませんが、工事の状況に応じて必要があれば規制を行う場合があります。なお、規制を行う場合には、回覧もしくはチラシ配布等でお知らせする予定です。
⑬	新観音橋の歩道橋が通行止めとなる場合、迂回ルートを知りたい。また、案内(チラシ配布)は行うのか。	新観音橋の歩道橋が通行止めとなった際は、上り車線側(北側)の歩道へ迂回していただくようになります。通行止めになる前には、工事周辺住民、通学路となる近隣の学校にチラシ配布等でお知らせする予定です。
⑭	(通称)舟入本町公園沿いの遊歩道の通行止めはいつからか。	令和8年3月頃から通行止めを予定しています。
⑮	工事の交通規制によって、広電(江波線)の運行に影響はあるのか。	広電(江波線)の運行に影響が無いよう、交通規制を行います。
⑯	全体事業の完成時期はいつ頃になるのか。	現時点で完成時期は未定です。
⑰	ニューマチックケーソン工法とは何か。	主に橋脚や地下構造物の基礎を築造するために使用する工法になります。この工法では、気密な作業室を設け、そこに圧縮空気を送り込むことで地下水の侵入を防ぎます。これにより、作業者は地上と同様の環境で掘削作業を行うことができます。
⑱	ニューマチックケーソン工法の掘削長はいくらか。	概ね30m程度となります。
⑲	ニューマチックケーソン工法は、今回説明があった工事場所(P46L・P46R・P47L・P47R橋脚)以外にどこで行われるか。	新明治橋付近、新住吉橋付近においても同工法を用いて施工する箇所があります。
⑳	ニューマチックケーソン工法は騒音はあるのか。	工事により音は発生しますが、使用する機械や工具の工夫等、できる限りの騒音低減対策に努めます。
㉑	工事の振動が気になる。P47Rの土留の鋼矢板の施工方法は何か知りたい。	鋼矢板打設については油圧式杭圧入引抜機での施工を予定しており、できる限りの振動低減対策に努めます。
㉒	どの作業が一番、振動・騒音があるのか。	支持杭(H鋼)を地面に打ち込む作業が他の作業と比べ振動・騒音が予想されます。使用する機械や工具の工夫等、できる限りの低減対策に努めます。

⑳	工事中の騒音については数値が視覚的にわかるようになるのか。	施工会社が騒音値を確認しながら工事を実施していきます。使用する機械や工具の工夫等、できる限りの騒音低減対策に努めます。
㉑	現在供用している西広島バイパスの過去の橋脚工事で、振動があり眠れなかった。 作業員の声、工事車両がバックする際の警告音がうるさかった。	振動については、使用する機械や工具の工夫等、できる限りの低減対策に努めます。 工事車両がバックする際の警告音を無くすことはできませんが、できる限りの低減対策に努めます。また、作業員の不必要な声がないように徹底します。
㉒	夜間工事中の照明が睡眠の妨げにならないか。	睡眠の妨げにならないように、できる限りの対策に努めます。
㉓	現在、新明治橋付近で行っている工事で現場内にクレーンを配置しているが強風などの対策は行っているのか。	台風などの気象状況に応じ、安全対策を講じ作業を行っています。
㉔	下水道管に起因する道路陥没などがあつたので心配しており、下水道管は大丈夫なのか。	各現場で安全対策を講じて、安全を最優先に工事を実施していきます。 なお、広島市において、既設の下水道管については定期的に点検を実施しています。
㉕	工事の影響で道路の陥没が発生することはないのか。	陥没が発生するような作業は想定していません。 なお、各現場では安全対策を講じて、安全を最優先に工事を実施していきます。
㉖	地中を掘削中に遺跡が出てきたらどうするのか。	事前に国土交通省から広島市に対して、遺跡の有無について照会を行い、存在しないことを確認しています。 なお、万が一工事中に遺跡等が出てきた場合には、広島市と協議することとしています。
㉗	現在、神崎地区の歩道(国道2号沿い)で行っている工事について、仮電柱はどうするのか。	電線共同溝の移設工事を現在行っており、地中の配線を仮電柱に移設し電線共同溝の移設が完了次第、仮電柱を撤去します。
㉘	P46L・P46Rの施工ヤード(盛土)は工事終了後、元に戻すのか。	施工ヤードについては、原形復旧を予定しています。

## 2 設計に関する内容

番号	意見・質問	回答
①	供用後の騒音対策は何をするのか。	高架橋に遮音壁を設置し、低騒音舗装とする等の騒音対策を行います。
②	高架橋(遮音壁を含む)の高さはどれくらいか。	現在の路面の高さから最大で高架橋約16m+遮音壁約5mで約21mの高さになります。
③	高架橋全線に遮音壁はできるのか。	河川を除く箇所に設置する計画です。
④	現歩道橋は支障となるのか。	現歩道橋への影響が最小限となるよう設計していますが、神崎陸橋(神崎歩道橋)については、東側に移設する計画です。
⑤	橋脚の施工箇所の地質調査はしているのか。	設計に必要なボーリング調査を実施しています。
⑥	P36L橋脚横の遊歩道幅員は5m必要ないのか。	遊歩道幅員は現在と同様に河川管理道路として3mを確保しています。
⑦	整備する高架橋が片側1車線だと、高架橋の途中で交通事故が起きたら渋滞して緊急車両が通行できないのではないのか。	非常駐車帯を設ける等、一時的に車両が通行できるよう、関係機関と協議し、緊急車両に配慮しています。
⑧	地震(南海トラフ等)の対策はできているか心配している。	橋梁の設計基準については、東日本大震災や熊本地震を踏まえた最新の基準で設計しています。
⑨	高架道路は耐用年数をどの程度見込んでいるのか。	100年程度を見込んでいます。
⑩	神崎陸橋(神崎横断歩道橋)を撤去し、新設すると聞いたが撤去後国道を横断することはできなくなるのではないのか。 また、新設及び撤去時期を教えてください。	施工順序として、新設の歩道橋の設置を行った後に既設の歩道橋を撤去するため、歩道橋の利用に問題はありません。 なお、新設及び撤去時期については現時点で未定です。

## 3 計画に関する内容

番号	意見・質問	回答
①	現(事業)計画はいつ頃から計画されていたものか。	平成6年に都市計画決定されたものです。
②	平野橋より東に延伸する計画はないのか。	現時点で計画はありません。
③	今回延伸される高架橋は、片側1車線か。片側2車線にしないのか。	今回延伸を行う区間については、片側1車線の計画です。
④	高架道路ができることによって、景観が損なわれるのではないのか。	広島市の景観条例や景観計画に基づき、高架橋の色彩やデザインなどに配慮することとしています。
⑤	高架道路ができることによって、現道の車線数が減少し渋滞が発生するのではないのか。	現道においては基本的に車線数の減少はなく、高架部を整備するため、現道から高架道路への交通転換が図られ、渋滞緩和に寄与します。
⑥	東雲地区あたりも渋滞しているが、渋滞対策はしないのか。	西広島バイパス都心部延伸事業は、広島西部方面から都心部に向かう交通を円滑に分散・導入させる役割を担っています。また、デルタ市街地を通過する東西の交通処理は、広島南道路が担っており、現在整備を進めています。
⑦	高架橋供用後の騒音や振動はどうなるのか。	高架橋供用後は、大型車等が高架道路に転換し、また、遮音壁を設置することで、騒音については、低減される予測となっています。振動については、増える箇所もありますが環境基準値内となる予測となっています。
⑧	新住吉橋付近及び新観音橋付近の橋脚は河川のどこに建つのか。川の中に門型柱は作れないのか。	河川の流下断面阻害による洪水リスク増大を回避するため、河川管理者と協議した上で現在の設計位置としています。
⑨	部分供用はあるのか。	全線完成後の供用開始となります。
⑩	新観音橋東詰交差点は渋滞しやすく、交通規制を行うことにより更に渋滞の悪化が懸念される。渋滞を緩和するために信号の点灯時間を変更できないか。	規制後の状況を踏まえて、引き続き、関係機関と連携のうえ対策を検討していきます。

## 4 その他の内容

番号	意見・質問	回答
①	工事の振動により家の水道等に影響が出たらどうなるのか。	補償が可能か否かについては、工事中の振動等を個別に判断することになりますので西広島バイパス都心部延伸事業相談窓口へご相談ください。なお、調査を行い工事による影響と判断された場合は補償対象となります。
②	工事の騒音等が原因で退去者が出た場合の補償に関する問い合わせ先を知りたい。また、工事騒音・振動に関する問い合わせ先も併せて知りたい。	工事騒音・振動に対する問合せ先は、西広島バイパス都心部延伸事業相談窓口となります。なお、工事騒音により退去された場合の補償はありません。
③	現在、新明治橋付近で行っている工事で、作業員が、横断歩道ではない箇所を横断し、工事現場に入っていた。	そのようなことがないように徹底します。
④	自宅マンションへの工事の影響をどのように判断するのか。	工事の影響を受け得る家屋調査対象範囲の家屋については、工事着手前に家屋調査(事前調査)を実施し、後に家屋調査(事後調査)を行い判断します。
⑤	千田地区において下水道管の移設工事は行われるのか。	千田地区においては、下水道管の移設工事を行う予定はありません。